

# 自分たちで守る安全 地域で取り 組む安心

台風などの大きな災害に対して、自分の命や家族を守るためには、日ごろから安全の備えが大切です。また、自分たちが住むまちや地域で協力して、防災に取り組むことが安心なまちづくりにつながります。

## 台風や大雨になったら

### 台風や自然災害についての情報を知ろう

大雨の時などは、テレビやラジオで気象情報などに注意しましょう。また、ホームページ、携帯電話や地上波デジタル放送でも詳しく紹介されています。

### 雨量について

雨の強さを表すときによく「〇〇mm以上の雨量」というふうにいいます。バケツなどを外に出して、1時間後にたまった水の深さが「〇〇mmの雨」となります。



1時間の雨量	予報用語	人への影響
10~20mm未満	やや強い雨	地面からはね返りで足元がぬれる。地面一面に水たまりができる。
20~30mm未満	強い雨	かさ傘をさしていてもぬれる。
30~50mm未満	激しい雨	道路が川のようになる。
50~80mm未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。
80mm~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

### 京都府ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/>

### 京都府 河川防災情報

<http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/>

### 気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/>



## 日ごろから備える

### 災害を少しでも防ぐためにも防災意識を持とう。

- 防災ハザードマップなどで身近な危険箇所や災害時に役立つ情報を集めましょう



- 避難所、避難経路、方法を家族で話し合っておきましょう



- 非常持ち出し品の準備をしましょう



- 近所の人とコミュニケーションをとりましょう



### 防災情報メール配信サービス

登録すると気象や避難情報が自分の携帯電話に配信されます。

「[anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp](mailto:anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp)」に空メールを送信



### いざというときは避難する

- 市町村からの避難情報に注意しましょう
- あわてず、落ち着いて行動しましょう
- 2人以上で、動きやすい服装で避難しましょう

大切な命を守るために、状況を見て判断しよう。



- 小さな子どもや高齢者・病気の人の体にはみんなで協力をして、スムーズに避難しましょう

### コラム 「避難」とは読んで字のごとく難を避けることです。

相手は自然です。予測できない急な大雨の時などは避難所へ避難するため時間が十分でない場合も考えられます。そんな時でも、難を避けるため何かできることをしましょう。

緊急的な方法としてたとえば…

- 洪水からは、建物の上の階や近所の高い場所への移動



- かけ崩れからは、がけから少しでも離れた部屋への移動

## 防災 チェックシート

### ✓ 持ち出す物

- 防災ハザードマップ
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 乾電池
- 医療品
- ろうそく
- マッチ/ライター
- 非常食
- 水
- 缶切り
- ロープ
- 着替え
- 下着類
- 現金・貴重品

- 貴重品の保管場所
- 家の近くの避難場所
- 避難経路
- はぐれたときの集合場所
- 家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか

### 家の近くの避難所

### 電話番号

--	--

### 家族の連絡先

### 電話番号

--	--

### いざというときの連絡先

### 電話番号

--	--

**災害用伝言ダイヤル** 災害時に電話がかけにくくなったときにサービスを開始します。伝言ダイヤルに無事であることを録音しておきましょう。

録音: 171-1-市外局番-自宅の電話番号  
再生: 171-2-市外局番-自宅の電話番号

チェックしたことのない人はぜひこの機会にやってみよう!

